

桑名市男女共同参画情報紙

# 花しゅうぶ

Vol.30

2013.AUTUMN



男女共同参画

紅一点じゃ、足りない。

「リーダーとして輝ける**女性**たち」

# ける女性たち

政府は「202030」を目標として掲げ、新聞や雑誌では女性リーダーの特集が増えています。そこで今回の花しょうぶは、リーダーとして活躍する女性にスポットを当てました。

## 三重銀行「初」女性支店長 笑顔で明るくがモットー



三重銀行 星川支店  
支店長

### 鈴木博美さん

愛知県名古屋出身。小学5年生のとき四日市市へ。商業高校卒業後、三重銀行に入行。本店の総務部と事務管理部を約4年勤めた後、塩浜支店に配属。以後渉外を中心に経験、2010年10月より現職。(2013年9月末日現在)

#### ■女性支店長は3人

三重銀行では鈴木支店長を含め3人の女性支店長が活躍中です。本店では、副部長などの女性管理職がみえます。支店長にという打診があったとき、なんで私が？私でいいの？という戸惑いがあったそうです。

#### ■夢はテラー(窓口担当)

志望動機は、テラーになりたかったからです。本店を経て念願のテラーとなり、塩浜支店など9年間勤めました。その後渉外、いわゆる外回りを約18年勤めました。

旭が丘支店で支店長に抜擢され、平成22年10月に星川支店長とな

#### ■とにかく人が好き

お話することも、お客様訪問も好きですし、自分にあつた仕事がんばったという意識があまりなく、その時

その時が一生懸命でした。そして、何をやるにも笑顔でやるうと思っ

いろいろな立場の女性へ職場でも家庭でも女性性は明るさが一番だと思います。女性の笑顔と明るい雰囲気、きちんとあいさつのできる素敵な職場や素晴らしい家庭にできるのです。

■市役所職員から弁護士へ  
小柄で細身。しなやかなの中にしっかりとした強さを感じる語り口の服部祥子弁護士は、市役所職員から弁護士に転じた経歴の持ち主です。大学時代から法律の勉強が好きでいて、弁護士である面白さという印象を持ちました。仕事が嫌な訳ではなかったのですが、迷いはありましたが、一度勉強してみよう、と決意しました。周囲の反対はありましたが、「法律が好き、今しかできない」という気持ちが後押ししたといいます。

■弁護士とは法律の知識  
で人を助ける職人  
現在、草野法律事務所所弁護士として働き始めて5年目を迎えます。合格して司法修習生にな

り、弁護士登録をするまでは全て勉強です。しかし、その後法律を使ってどう事件を解決するかは、本に書いてありません。事件を先輩に任せながら相談して一緒にやっていく過程で経験を身につけていく、という中で、職人に近いと思います。

#### ■女性の生き方は様々

「私は、仕事を続けるという道を選んだため、『ただいま』と子どもが学校から帰ってくる場に立ち会った経験がほとんどありません。とことん子どもと関わる人生も、意味があると思っています。それぞれの、そして、様々な生き方が女性にはあり、これが正解という生き方はないんじゃないかと思っています」

## 女性の生き方は様々、 正解なんてない。



草野法律事務所  
弁護士

### 服部祥子さん

三重郡朝日町出身。大学卒業後、桑名市役所で約8年の勤務を経て、弁護士になることを決意。法科大学院に入学し、見事司法試験に合格。2009年から草野法律事務所勤務弁護士を務める。

## Q&A

Q1 一番大変だった時は？

A 下の子どもが4歳の頃、2カ月間埼玉で集合研修を受けて単身赴任になった時が一番大変でした。

Q2 やりがいを感じる時は？

A 私生活では会うことのできない色々な方と出会えるのは人生の貴重な体験です。あとは、どういう形であれ一生懸命に依頼者の方と一緒に解決し、満足してもらえた時が一番嬉しいですね。

Q3 エネルギーの源は？

A 仕事の持つ緊張感が好きです。子どもと一緒にいる時間と仕事で使う時間は全く異なる世界。だから異なる時間を楽しむとすごく気分転換になるし、一晩寝ると「仕事をやろう！」と元気になる。

## Q&A

Q1 部下に心がけていることは？

A 髪型や体調面など気になったことはさりげなく、声をかけます。

Q2 一番大変だった時は？

A 渉外としてがんばった18年間です。

Q3 信念は？

A 女性性は明るさと笑顔！

Q4 家族のサポートは？

A 出産から育児まで全面的に夫の両親にサポートしていただきました。とても感謝しています。

# リーダーとして輝

## 入社8年目で難関管理職試験に合格 努力は報われるんです!



ユニー株式会社  
アビタ桑名店  
ホームファッション部門  
主任

### 石塚恵理子さん

三重県津市出身。大学卒業後、2006年ユニー株式会社入社。アビタ港店、アビタ松阪三雲店を経て、2010年アビタ四日市店にてホームファッション部門の部門長となる。2012年アビタ桑名店に異動。今年5月に狭き門の管理職試験に合格し課長となる。(現在は先任者がいるため主任)

■今年5月から現職に  
ものごしやわらかな印象の中にも凛としたしんの強さが感じられる石塚さん。  
「私は決して要領がよい方ではないので、努力型なんです。」と笑顔で話されます。  
桑名市の中心に位置するアビタ桑名店の売上げは、アビタのなかでもトップクラスです。彼女はそんな中でホームファッション部門の主任として働いています。部下は10名ほど。今年の5月に合格率わずか10%の管理職試験に見事合格、課長に昇進しました。  
入社8年目の今年、試験へのチャレンジは3回目だったそうです。上司は、「わずか

回で管理職試験に合格することは珍しい。」とおっしゃいます。  
■接客経験が転機に  
学生時代にドラッグストアでの接客経験がきっかけとなり、サービスマンの楽しさを知ったそうです。個人ではなくチームで働いて成果を出すのが楽しいと微笑まれます。「人と接することが好きだから仕事が楽しい。職場で心がけていることは、コミュニケーションは、コミュニケーション。わからないことは素直に桑名店での在籍期間が長い方に伺います。また、主婦として先輩方が大勢みえるので、家事のコツなどアドバイス頂いたりしています。」  
そんな日頃のコミュ

ニケーションが信頼関係をづくり、チームとして仕事を土台とっているの、でしょう。  
人と接することが仕事だからこそ、職場での人間関係も大切にされる姿勢が光ります。  
■さらに視野を広げて  
「まだ、管理職になっただけで駆け出しです。もっと、色々な仕事を経験して視野を広げていきたい。」  
また、今までは店舗勤務だったので、本社勤務も経験したいそうです。彼女の努力はこれからも続いていくでしょう。

### Q&A

- Q1 一番大変だった時は?  
A 松阪三雲店に異動したとき。入社2年目でわからないことも多いなか、売り場で社員が1人の時は大変でした。
- Q2 信念は?  
A 努力。要領がよい方ではないので、その分努力で補う努力型です。
- Q3 ストレス解消法は?  
A 学生時代の友人と旅行!
- Q4 家族のサポートは?  
A 仕事の遅い日などは、主人が夕食を作ってくれます。寒い冬に家に帰ってお鍋ができていたりすると、とても嬉しいです。

### ■女性初の管理職に

「どんな時も前向きに考えよう!」実際はその通りに動いていないんですけれど、そうできたらいいなってという意味なんです。」と穏やかに話すのは、大平真理さん。NTN株式会社の桑名製作所で女性初の管理職です。男性が9割以上を占める工場です。3年前に課長に就任しました。本社や海外支社では、女性管理職は珍しくありません。しかし、工場で女性管理職というのは初めてのことで、社内のみならず社外でも話題になりました。

### ■転機は、製造部門への異動

入社後は、研究部門でプラスチックの開発や流体動圧の品質保証に携わりました。転機が訪れたのは入社

### ■モノづくりが好き

小さい頃からモノがどうやってできているのかが興味があつて、よくモノを壊していました。小学生くらいになると、プラモデルを作っていました。今思うと、ちよつと変わった女の子だったかもしれませんね。

### ■これからの女性のために

桑名製作所でも女性の

後13年目の時です。製造部門に異動となり「研究部門と製造部門のギャップ」を味わいました。「研究ばかりしていると、理想を追い求めているので現実が見えていないこともありました。現場に行つて初めて本当に要求されるものに分かるようになっていきました。」

### ■家でゆつくり

忙しい日々の生活の中で一番のリフレッシュは家でゆつくりすることです。「ストレスはあるけれど、自分で気がついていないのかも

## 桑名製作所「初」の女性管理職 どんな時も前向きに!



NTN株式会社 桑名製作所  
品質保証部 特殊工程品質管理課  
課長

### 大平真理さん

三重県桑名市出身。大学卒業後、NTN株式会社に入社。プラスチックの開発、流体動圧の品質保証課、航空機関係の精密品質保証課を経て、2010年に特殊工程品質管理課に異動。桑名製作所で初の女性課長に昇進。

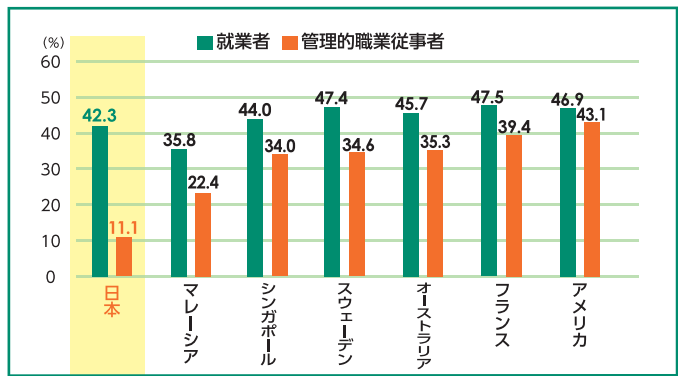
### Q&A

- Q1 部下に対して日頃心がけていることは?  
A 部下が今何をやっているのかわかるようにすることですね。仕事の配分も含めて、大変であれば自分が一緒にできないか考えています。
- Q2 エネルギーの源は?  
A 子どもですね。子どもが一生懸命がんばっている、家族が応援してくれている、そのことを思うと仕事で辛いことがあつても「もうちよつとがんばろうかな」と思います。
- Q3 キャリアアップについて  
A 人それぞれ事情があるので、絶対できないという方もいらっしゃると思います。でも、もしできるのであれば、管理職になることもひとつの経験と考へてチャレンジしてみてください。
- Q4 家族のサポートは?  
A 両親と同居しているので、いろんな面で助けてもらっています。

# 世界とくらべると…

皆さん、日本にどれくらいの女性管理職がいますか？約10%です。グラフを見てみましょう。女性就業者については日本をはじめ、どの国も約40%程度。しかし、管理職に限ってみると日本は極端に少なくなることが分かります。日本の女性管理職は欧米のみならず他のアジア諸国と比べてもとても少ないです。

就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合



(備考) 1.労働力調査(基本集計)(平成24年)(総務省)、データブック国際労働比較2013(独立行政法人労働政策研究・研修機構)より作成。  
2.日本は平成24年(2012)年、その他の国は平成23(2011)年のデータ。  
3.「管理的職業従事者」とは、会社役員、企業の課長相当職以上、管理的公務員等をいう。また、管理的職業従事者の定義は国によって異なる。

## ジェンダーギャップ指数(2012) 主な国の順位

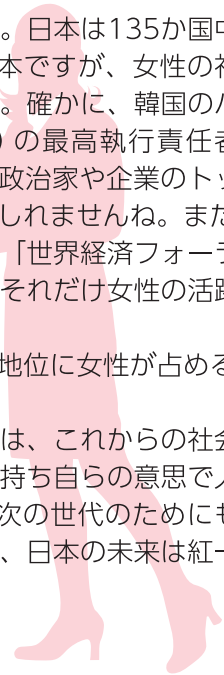
順位	国名	順位	国名
1	アイスランド	∴	
2	フィンランド	18	イギリス
3	ノルウェー	∴	
4	スウェーデン	22	アメリカ
5	アイルランド	∴	
6	ニュージーランド	69	中国
7	デンマーク	∴	
8	フィリピン	101	日本

(備考) ジェンダーギャップ指数(GGI): スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が独自に算定したもので、経済分野・教育分野・政治分野・保健分野の4分野から構成され、男女格差を測る指数。日本は、依然として政治・経済分野での格差が大きく、総合順位が低い状況。

次に、女性の社会進出について見てみましょう。日本は135か国中101位。GDP(国内総生産)では世界第3位の日本ですが、女性の社会進出では後進国と言えるのではないのでしょうか。確かに、韓国のパク・クネ大統領やFacebook(フェイスブック)の最高執行責任者(COO)シェリル・サンドバーグ氏など、海外の政治家や企業のトップは、日本に比べて女性が多いように感じるかもしれませんね。また、このジェンダーギャップ指数を公表しているのは「世界経済フォーラム」という経済に関する国際機関です。つまり、それだけ女性の活躍と経済が密接な関係にあるといえそうです。

日本政府の掲げる「202030」は、指導的地位に女性が占める割合を30%程度とすることを目標としています。

今回インタビューした4人のリーダーの皆さんは、これからの社会をつくる先駆者となっている方々です。向上心を持ち自らの意思で人生を選択されている姿がそれぞれに素敵です。「次の世代のためにもこれからもがんばりたい」と力強い言葉を頂くと、日本の未来は紅一点ではないかもしれませんね。



## 編集後記

■私は今回、女性弁護士の先生の記事を担当させていただいたのですが、別の道を選んだ女性の存在意義もきちんと認めておられることに感銘を受けました。女性の生き方は様々な選択肢があり、その中で選び取った役割で最大限に個性と能力を発揮し、自分の生き方に自信と誇りを持ち、それぞれの女性が色々な役割を互いに尊重し合える社会に行きたいですね。

桜井 千夏

■今回取材をさせていただいた皆さんは、職種は違っても自信と誇りを持って仕事に臨んでみえることをインタビューで感じました。部下や周りに対する気遣い、気配りも素晴らしいですね。家庭と仕事の両立については家族のサポートの必要性が感じられました。彼女たちの活躍が後につづく方たちの目標になってもらえる…きっと。

佐藤 忠光

■「仕事と家庭を両立はどのようにされていますか？」今回の取材を通じて、これは働く“女性”にのみ向けられる質問であるように感じました。インタビューに答えていただいた4人の方々は、エネルギーでポジティブ、キャリアも家庭も大切にしておられ、同じ女性としてすごく素敵だなと感じました。女性の社会進出を後押ししてきた大先輩の言葉に、とても元気付けられました。後に続けるようにがんばっていきたいと思います！

新城 真弓

■今年より編集委員となって、初めてのことばかりでした。ここ2年ほど子育て中心の生活だったので、編集会議、取材等社会との接点ができたことが楽しかったです。取材では同じ女性として尊敬できる方にお会いできて、とても元気を頂きました。

「202030」が早く実現することを願っています！

伊藤 朱喜

**お知らせ** 男女共同参画をテーマとした「出前トーク」を実施しています。詳しくは下記までお問合せください。

この情報紙は市役所市民協働課、市役所総合案内、サンファーレサテライトオフィス、図書館、最寄の地区センターなどにあります。よりよい情報発信ができるように、市民の皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。今後もご愛読どうぞよろしくお祈いします。

【発行】 桑名市市民安全部市民協働課 〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地

Tel 0594(24)1413 Fax 0594(24)1735 Eメール ccollabo@city.kuwana.lg.jp